

歴史や芸術、食と農をはじめ県が誇る文化に触れ、学び、体験できる施設として、県が約110億円をかけて天理市杣之内町の約2・3分の敷地に建設を進めていた「なら歴史芸術文化村」が21日にオープンした。それに先立ち国会議員、県議、市町村長ら約130人が出席して、開村セレモニーが行われた。

開村した「なら歴史芸術文化村」。左から文化財修理・展示棟、芸術文化体験棟、情報発信棟、交流にぎわい棟(北側より)



なら歴史芸術文化村が開村

知事「対話型観賞」を強調

天理市「道の駅」とホテルもオープン

同文化村は▼文化財修復・展示棟▼芸術文化体験棟▼産直レストラン▼学長が言っているように、作った人の心の中を探ること。これに、文化・芸術は国を興す。わが国でも、人々の交流があり文化活動が盛んだった東海道筋文化の力」をテーマに、現在も大きな経済活動が続いている。歴史が示している。奈良県もそのような発展のパターンとなるように施設運営を果たしたい」と思いを話した。

この後、ソルター学長や県内に活動拠点をもちピアニストの反田恭平氏からのビデオメッセージがあり、知事「フェアフィールド・バイ・マリオット奈良」や国会議員ら6人が「つなぐスィッチ」を入れ、文化村開村を知らせた。また、

同文化村は▼文化財修復・展示棟▼芸術文化体験棟▼産直レストラン▼学長が言っているように、作った人の心の中を探ること。これに、文化・芸術は国を興す。わが国でも、人々の交流があり文化活動が盛んだった東海道筋文化の力」をテーマに、現在も大きな経済活動が続いている。歴史が示している。奈良県もそのような発展のパターンとなるように施設運営を果たしたい」と思いを話した。



- ① 南側にある市営駐車場からは遊歩道が整備され、池のほとりを徒歩10分で同文化村へ。左に見える桜の大きな木が、もうすぐ花を添える
- ② 「つなぐスィッチ」を押す(左から)佐藤啓参院議員、小林茂樹衆院議員、前川清成衆院議員、榎本剛・文化庁審議官、荒井正吾知事、荻田義雄・県議会議員
- ③ 考古資料の修復作業を興味深く見学する親子ら
- ④ お目当ての物産などを求めて、交流にぎわい棟には長蛇の列が
- ⑤ 伊勢神宮で奉納したダンスを披露するケント・モリさん(中央)と学生ら
- ⑥ 記念シンポジウムでは、(右から)荒井知事、文化勲章受章者の洋画家絹谷幸二氏、県檀考古学研究所長の青柳正規氏が熱く意見交換した
- ⑦ 同時オープンしたホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・奈良天理山の辺の道」

